



# SMB共有プロパティを使用する ONTAP 9

NetApp  
December 20, 2024

# 目次

|                                   |   |
|-----------------------------------|---|
| SMB共有プロパティを使用する .....             | 1 |
| SMB共有プロパティの使用の概要 .....            | 1 |
| 既存のSMB共有に対する共有プロパティの追加または削除 ..... | 2 |

# SMB共有プロパティを使用する

## SMB共有プロパティの使用の概要

SMB 共有のプロパティをカスタマイズすることができます。

使用可能な共有プロパティは次のとおりです。

| 共有プロパティ                | 説明  |
|------------------------|---|
| oplocks                | 共有で便宜的ロック（クライアント側キャッシュ）を使用することを指定します。   |
| browsable              | Windowsクライアントが共有を参照することを許可します。  |
| showsnapshot           | クライアントがSnapshotコピーを表示およびトラバースできることを指定します。   |
| changenotify           | 共有が変更通知要求をサポートすることを指定します。SVM 上の共有では、これはデフォルトの初期プロパティです。   |
| attributecache         | 属性にすばやくアクセスできるように SMB 共有でのファイル属性のキャッシュを有効にします。デフォルトでは、属性のキャッシュは無効になっています。このプロパティは、SMB 1.0 経由で共有に接続するクライアントがある場合にのみ有効にしてください。クライアントが SMB 2.x または SMB 3.0 経由で共有に接続している場合、この共有プロパティは適用されません。 |
| continuously-available | このプロパティは、サポートするSMBクライアントが永続的な方法でファイルを開くことを許可します。この方法で開いたファイルは、フェイルオーバーやギブバックなど、システムを停止させるイベントから保護されます。  |
| branchcache            | 共有内のファイルに対するBranchCacheハッシュの要求をクライアントに許可します。このオプションが役立つのは、CIFS の BranchCache 設定で動作モードとして「共有ごと」を指定した場合だけです。  |

| 共有プロパティ                  | 説明  |
|--------------------------|---|
| access-based-enumeration | このプロパティは、この共有で _ アクセスベースの列挙 _ (ABE) を有効にするように指定します。ABEでフィルタリングされた共有フォルダは、個々のユーザーのアクセス権に基づいてユーザーに表示されるため、ユーザーがアクセス権を持っていないフォルダやその他の共有リソースは表示されません。   |
| namespace-caching        | 共有に接続するSMBクライアントが、CIFSサーバから返されるディレクトリの列挙結果をキャッシュできることを指定します。これにより、パフォーマンスが向上します。デフォルトでは、SMB 1のクライアントはディレクトリの列挙結果をキャッシュしません。SMB 2 および SMB 3 クライアントはデフォルトでディレクトリ列挙結果をキャッシュするため、この共有プロパティを指定してパフォーマンスが向上するのは SMB 1 クライアント接続のみです。 |
| encrypt-data             | この共有へのアクセス時にSMB暗号化を使用する必要があることを指定します。SMB データへのアクセスで暗号化をサポートしていない SMB クライアントは、この共有にアクセスできません。  |

## 既存のSMB共有に対する共有プロパティの追加または削除

共有プロパティを追加または削除することで、既存のSMB共有をカスタマイズできます。これは、環境内の要件の変化に合わせて共有設定を変更する場合に便利です。

開始する前に

プロパティを変更する共有が存在する必要があります。

タスクの内容

共有プロパティの追加に関するガイドラインは次のとおりです。

- カンマで区切って1つ以上の共有プロパティを追加できます。
- 以前に指定した共有プロパティは有効なままです。

新しく追加したプロパティは、既存の共有プロパティのリストに追加されます。

- 共有にすでに適用されている共有プロパティに新しい値を指定した場合は、元の値が新たに指定した値に置き換えられます。
- コマンドを使用して共有プロパティを削除することはできません `vserver cifs share properties add`。

共有プロパティを削除するには、コマンドを使用し ``vserver cifs share properties remove`` ます。

共有プロパティの削除に関するガイドラインは次のとおりです。

- カンマで区切って1つ以上の共有プロパティを削除できます。
- 以前に指定した共有プロパティは、削除しないかぎり有効なままです。

#### 手順

1. 該当するコマンドを入力します。

| 状況           | 入力するコマンド  |
|--------------|---|
| 共有プロパティを追加する | <code>vserver cifs share properties add -vserver _vserver_name_ -share-name _share_name_ -share-properties _properties_,...</code>    |
| 共有プロパティを削除する | <code>vserver cifs share properties remove -vserver _vserver_name_ -share-name _share_name_ -share-properties _properties_,...</code> |

2. 共有プロパティの設定を確認します。 `vserver cifs share show -vserver vserver_name -share-name share_name`

#### 例

次のコマンドを実行すると、SVM vs1上の「share1」という名前の共有に共有プロパティが追加され、`showsnapshot` ます。

```
cluster1::> vserver cifs share properties add -vserver vs1 -share-name
share1 -share-properties showsnapshot

cluster1::> vserver cifs share show -vserver vs1
Vserver      Share      Path          Properties    Comment      ACL
-----
vs1          share1    /share1      oplocks      -            Everyone / Full
Control
                browsable
                changenotify
                showsnapshot
```

次のコマンドは、SVM vs1上の「share2」という名前の共有から共有プロパティを削除し、`browsable` ます。

```
cluster1::> vserver cifs share properties remove -vserver vs1 -share-name
share2 -share-properties browsable
```

```
cluster1::> vserver cifs share show -vserver vs1
```

| Vserver | Share  | Path    | Properties   | Comment | ACL             |
|---------|--------|---------|--------------|---------|-----------------|
| vs1     | share2 | /share2 | oplocks      | -       | Everyone / Full |
| Control |        |         | changenotify |         |                 |

関連情報

[SMB共有の管理用コマンド](#)

## 著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。